

注3

大学番号：001

意見伺い

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科以外の教育研究上の  
基本となる組織（学校教育法第100条）の設置

注1

北海道大学大学院 国際感染症学院 感染症学専攻

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学  
平成30年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

<北海道大学大学院 国際感染症学院 感染症学専攻（博士課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

## (2) 大学名 北海道大学

## (3) 大学の位置

〒060-0818

北海道札幌市北区北18条西9丁目

(〒060-0808 : 北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学院長	(オオハシ カズヒコ) 大橋 和彦 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)  
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院国際感染症学院 感染症学専攻 (博士課程) 博士(感染症学) 博士(獣医学)	学際領域(獣医学, 医学)	4	12	48	基礎となる学部等 獣医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12人 12 (若干名) [若干名]	若干名 12 (若干名) [若干名]	12人 12 (若干名) [若干名]	若干名 12 (若干名) [若干名]	人	人	( )	( )	( )	( )	1.24倍	平成30年度10月入学者については, 平成30年8月に選抜試験を行うため, 現時点で未定。
志願者数	12 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 3 ]	17 ( - ) [ 10 ]	( ) ( ) [ ]	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
受験者数	11 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 3 ]	17 ( - ) [ 10 ]	( ) ( ) [ ]	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
合格者数	11 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 3 ]	17 ( - ) [ 10 ]	( ) ( ) [ ]	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
B 入学者数	11 ( - ) [ 4 ]	3 ( - ) [ 3 ]	16 ( - ) [ 10 ]	( ) ( ) [ ]	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.33									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	11 [ 4 ] ( - )	3 [ 3 ] ( - )	16 [ 10 ] ( - )	3 [ 3 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		11 [ 4 ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	14 [ 7 ] ( - )		30 [ 17 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注)
- ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	14人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	30人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	44人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<大学院 国際感染症学院 感染症学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	感染症学特別研究 I	1~2通	8			9	7	3	6			
	感染症学特別演習	1~4通	2			9	7	3	6			
	アカデミックイングリッシュ	1前	2			1						2
	研究倫理演習	1前	1			4		1				2
	人獣共通感染症対策専門特論	2前	5			9	2	1	1			3
選択必修科目	感染症学特別研究 II A	3~4通	8			9	6	2	3			
	感染症学特別研究 II B	3~4通	8			9	6	2	3			
	海外インターンシップA	3~4通	2			6						
	海外インターンシップB	3~4通	2			6						
選択科目	獣医科学・感染症学基礎科目	生物統計学特論	1前	1			1		1			1
		研究機器演習	1前	1		1	2	1	1			3
		情報科学特論	1前	1		1	1		1			1
		免疫学特論	1後	1		1	1		1			
		寄生虫学特論	1後	1					1			1
		獣医公衆衛生学特論	1後	1		1	1					
		微生物学特論	1後	1		3	2					
	獣医衛生学特論	1後	1		1		1	1				
	国際感染症学 I	病原体ゲノム解析学特論	2前	1				2				
		人獣共通感染症制御学特論	2前	1			4	3	2			
		生体防御学特論	2前	1			1					3
	国際感染症学 II A	リスク分析学特論	2後	1			1			1		
		国際保健衛生演習	2後	1			1					
		感染症数理生物学特論	2後	1			1			1		
	国際感染症学 II B	感染病理学特論	2後	1			1		1			
越境性感染症学特論		2後	1			1	1	1				
製剤開発特論		2後	1			1	1				1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	感染症学特別研究 I	1~2通	8			10	10	4	5			
	感染症学特別演習	1~4通	2			10	10	4	5			
	アカデミックイングリッシュ	1前	2			1						2
	研究倫理演習	1前	1			4		1				2
	人獣共通感染症対策専門特論	2前	5			10	4	1	1			2
選択必修科目	感染症学特別研究 II A	3~4通	8			9	8	3	4			
	感染症学特別研究 II B	3~4通	8			9	8	3	4			
	海外インターンシップA	3~4通	2			6						
	海外インターンシップB	3~4通	2			6						
選択科目	獣医科学・感染症学基礎科目	生物統計学特論	1前	1			1		1			1
		研究機器演習	1前	1		1	2	1	1			4
		情報科学特論	1前	1		1	1		1			2
		免疫学特論	1後	1		1	1		1			
		寄生虫学特論	1後	1					1			
		獣医公衆衛生学特論	1後	1		1	1					1
		微生物学特論	1後	1		3	2					
	獣医衛生学特論	1後	1		1		1	1				
	国際感染症学 I	病原体ゲノム解析学特論	2前	1				2				
		人獣共通感染症制御学特論	2前	1			4	5				
		生体防御学特論	2前	1			1	1				3
	国際感染症学 II A	リスク分析学特論	2後	1				1		1		
		国際保健衛生演習	2後	1				1				
		感染症数理生物学特論	2後	1			1			1		
	国際感染症学 II B	感染病理学特論	2後	1			1		1			
越境性感染症学特論		2後	1			1	1	1				
製剤開発特論		2後	1			1	1	1			1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	感染症学特別研究Ⅰ	1～2通	8			11	10	4	6		
	感染症学特別演習	1～4通	2			11	10	4	6		
	アカデミックイングリッシュ	1前	2			1					2
	研究倫理演習	1前	1			4		1			2
	人獣共通感染症対策専門特論	2前	5			10	4	1	1		2
選択必修科目	感染症学特別研究ⅡA	3～4通	8			9	8	3	4		
	感染症学特別研究ⅡB	3～4通	8			9	8	3	4		
	海外インターンシップA	3～4通	2			6					
	海外インターンシップB	3～4通	2			6					
選択科目	獣医科学・感染症学基礎科目	生物統計学特論	1前	1			1		1		1
		研究機器演習	1前	1		1	2	1	1		3
		情報科学特論	1前	1		1	1		1		1
		免疫学特論	1後	1		1	1		1		
		寄生虫学特論	1後	1		1	1				
		獣医公衆衛生学特論	1後	1		1	1		1		
		微生物学特論	1後	1		3	2				
		獣医衛生学特論	1後	1		1		1	1		
	国際感染症学Ⅰ	病原体ゲノム解析学特論	2前	1				2			
		人獣共通感染症制御学特論	2前	1		4	4	2			
		生体防御学特論	2前	1		1	1				3
	国際感染症学ⅡA	リスク分析学特論	2後	1		1	1		1		
		国際保健衛生演習	2後	1		1	1				
		感染症数理生物学特論	2後	1		1			1		
	国際感染症学ⅡB	感染病理学特論	2後	1		1		1			
越境性感染症学特論		2後	1		1	1	1				
製剤開発特論		2後	1		1	1	1			1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・教育課程の充実の充実を図るための追加、及び教員の昇任により、「感染症学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を、「准教授7」から「准教授10」、「講師3」から「講師4」に変更。「助教6」については教員の1名追加、准教授への昇任により1名減員で、員数に変更なし。

・教育課程の充実の充実を図るための追加、及び教員の昇任により、「感染症学特別演習」の専任教員等の配置を、「准教授7」から「准教授10」、「講師3」から「講師4」に変更。「助教6」については教員の1名追加、准教授への昇任により1名減員で、員数に変更なし。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「人獣共通感染症対策専門特論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授4」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加、及び教員の昇任により、「感染症学特別研究ⅡA」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授8」、「講師2」から「講師3」、「助教3」から「助教4」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加、及び教員の昇任により、「感染症学特別研究ⅡB」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授8」、「講師2」から「講師3」、「助教3」から「助教4」に変更。

・教員の昇任により、「寄生虫学論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「獣医公衆衛生学特論」の専任教員等の配置について「助教0」から「助教1」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「人獣共通感染症制御学特論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「生体防衛学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「リスク分析学特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「国際保健衛生演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「製剤開発特論」の専任教員等の配置について「講師0」から「講師1」に変更。

・「感染症学特別研究Ⅰ」「感染症学特別演習」「人獣共通感染症対策専門特論」「寄生虫学特論」について、認可時と平成29年度以降の「教授」の員数差は、完成年度までに退職を迎える教授の員数差である。

【平成30年度】

・教員の退職により、「感染症学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を、「教授11」から「教授10」、「助教6」から「助教5」に変更。

・教員の退職により、「感染症学特別演習」の専任教員等の配置を、「教授11」から「教授10」、「助教6」から「助教5」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「研究機器演習」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加により、「情報科学特論」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

・教育課程の充実の充実を図るための追加、及び教育実施体制の見直しにより、「人獣共通感染症制御学特論」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」、「講師2」から「講師0」に変更。

・教育実施体制の見直しにより、「リスク分析学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。

・教育実施体制の見直しにより、「国際保健衛生演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	21 科目	0 科目	26 科目	5 科目 [ 0 ]	21 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	26 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	923,867 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	923,867 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	175,488 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	175,488 m <sup>2</sup>			
	小 計	1,099,355 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,099,355 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	659,049,323 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	659,049,323 m <sup>2</sup>			
	合 計	660,148,678 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	660,148,678 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	計算誤りによる修正 (30)		
		625,868 <del>776,494</del> m <sup>2</sup> (625,868 <del>776,494</del> m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	625,868 <del>776,494</del> m <sup>2</sup> (625,868 <del>776,494</del> m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	5室	5室	46室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		国際感染症学院		34 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学院単位での特定が 不能なため、北海道 大学全体の数  除却及び新規購入に よる修正(30)
	国際感染症学院	3,838,813 3,740,130 <del>[-1,788,390]</del> 〔1,748,330〕	84,673 85,135 <del>[-37,105]</del> 〔 36,991〕	21,399 22,120 <del>[-20,170]</del> 〔20,825〕	89,444 90,076	0	0	
		3,838,813 3,740,130 <del>[-1,788,390]</del> 〔1,748,330〕	84,673 85,135 <del>[-37,105]</del> 〔 36,991〕	21,399 22,120 <del>[-20,170]</del> 〔20,825〕	<del>(89,444)</del> (90,076)	(0)	(0)	
	計	3,838,813 3,740,130 <del>[-1,788,390]</del> 〔1,748,330〕	84,673 85,135 <del>[-37,105]</del> 〔 36,991〕	21,399 22,120 <del>[-20,170]</del> 〔20,825〕	89,444 90,076	0	0	
		3,838,813 3,740,130 <del>[-1,788,390]</del> 〔1,748,330〕	84,673 85,135 <del>[-37,105]</del> 〔 36,991〕	21,399 22,120 <del>[-20,170]</del> 〔20,825〕	<del>(89,444)</del> (90,076)	(0)	(0)	
(6) 図 書 館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		同上		
	33,542 m <sup>2</sup>	2,224 席		425 万冊				
(7) 体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					同上	
	7,429 m <sup>2</sup>	テニスコート(11)、野球場(3)、プール(2)、ホッケー・ハンドボール場(1)、陸上競技場(1)、サッカーラグビー場(1)、アメリカンフットボール・ラグビー場(1)、スポーツトレーニングセンター(1)、武道場(1)、剣道場(1)、弓道場(1)、洋弓場(1)、ライフル射撃場(1)、ボート艇庫(1)、ヨット艇庫(1)、馬場(1)、山小屋(5)						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	国立大学法人 北海道大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
<b>文学部</b>						1.04	S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文科学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
<b>教育学部</b>						1.07	S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	③10	220	学士(教育学)	1.07	S24		
<b>法学部</b>						1.05	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	②10/③10	850	学士(法学)	1.05	S49		
<b>経済学部</b>						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)	1.07	S28		
経営学科	4	90		360	学士(経営学)	1.06	S41		
<b>理学部</b>						1.03	S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.02	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.03	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.04	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.04	H6		
<b>医学部</b>						—	S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	学士(看護学/保健学)	1.03	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
<b>歯学部</b>						0.99	S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	0.99	S42		
<b>薬学部</b>						—	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)	1.03	H18		
薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.03	H18		
<b>工学部</b>			③10			1.04	S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.05	H17		
情報工外工学科	4	180		720	学士(工学)	1.04	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.06	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.03	H17		
<b>農学部</b>						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)	1.04	H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)	1.04	H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)	1.04	S24		
<b>獣医学部</b>						1.03	S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.03	H24		

編入学定員は4学科共通であるため、収容定員には含めていない

<b>水産学部</b>						1.01	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
海洋資源科学科		4	53	212	学士(水産学)	1.01	H18		
増殖生命科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
資源機能化学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
<b>文学研究科</b>							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学専攻	M	2	14	28	修士(文学)	0.53	H12		
	D	3	6	18	博士(文学)	0.82	H12		
歴史地域文化学専攻	M	2	28	56	修士(文学/学術)	0.80	H12		
	D	3	11	33	博士(文学/学術)	0.81	H12		
言語文学専攻	M	2	29	58	修士(文学)	0.98	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	1.08	H12		
人間文化科学研究科	M	2	19	38	修士(文学)	1.65	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
<b>法学研究科</b>							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学専攻	M	2	20	40	修士(法学)	0.97	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.35	H12		
法律実務専攻	P	3	50	150	法務博士(専門職)	0.71	H16		
<b>医学研究科</b>							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学専攻	M	2	—	—	修士(医科学)	—	H14		
医学専攻	D	4	—	—	博士(医学)	—	H19		
<b>情報科学研究科</b>							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学専攻	M	2	48	96	修士(工学/情報科学)	1.15	H26		
	D	3	12	36	博士(工学/情報科学)	0.63	H26		
情報IT/ソフトウェア専攻	M	2	39	78	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	0.95	H16		
生命人間情報科学専攻	M	2	33	66	修士(工学/情報科学)	0.96	H16		
	D	3	6	18	博士(工学/情報科学)	0.61	H16		
データネットワーク専攻	M	2	30	60	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.20	H16		
システム情報科学専攻	M	2	27	54	修士(工学/情報科学)	1.23	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.37	H16		
<b>水産科学院</b>							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学専攻	M	2	43	86	修士(水産科学)	1.11	H17		
	D	3	17	51	博士(水産科学)	0.31	H17		
海洋応用生命科学専攻	M	2	47	94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18	54	博士(水産科学)	0.58	H17		

<b>環境科学院</b>							H17	札幌市北区北10条西5丁目
環境起学専攻	M	2	44	88	修士(環境科学)	0.74	H17	
	D	3	15	45	博士(環境科学)	0.50	H17	
地球圏科学専攻	M	2	35	70	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	14	42	博士(環境科学)	0.40	H17	
生物圏科学専攻	M	2	52	104	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	23	69	博士(環境科学)	0.59	H17	
環境物質科学専攻	M	2	28	56	修士(環境科学)	1.05	H17	
	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.57	H17	
<b>理学院</b>							H18	札幌市北区北10条西8丁目
数学専攻	M	2	46	92	修士(理学)	0.74	H18	
	D	3	17	51	博士(理学)	0.54	H18	
物性物理学専攻	M	2	24	48	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	10	30	博士(理学)	0.66	H18	
宇宙理学専攻	M	2	20	40	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	9	27	博士(理学)	1.03	H18	
自然史科学専攻	M	2	39	78	修士(理学)	1.29	H18	
	D	3	20	60	博士(理学)	0.80	H18	
<b>農学院</b>							H18	札幌市北区北9条西9丁目
共生基盤学専攻	M	2	40	80	修士(農学)	0.97	H18	
	D	3	8	24	博士(農学)	1.24	H18	
生物資源科学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.18	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.59	H18	
応用生物科学専攻	M	2	18	36	修士(農学)	1.85	H18	
	D	3	6	18	博士(農学)	0.94	H18	
環境資源学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.29	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.56	H18	
<b>生命科学院</b>							H18	札幌市北区北10条西8丁目
生命科学専攻	M	2	116	232	修士(生命科学/農科学)	0.99	H18	
	D	3	38	114	博士(生命科学/農科学)	0.82	H18	
臨床薬学専攻	D	4	6	24	博士(臨床薬学)	1.37	H24	
リトマテ専攻	M	2	16	32	修士(リトマテ科学)	1.50	H30	
	D	3	6	18	博士(リトマテ科学)	0.83	H30	
<b>教育学院</b>							H19	札幌市北区北11条西7丁目
教育学専攻	M	2	45	90	修士(教育学)	0.99	H19	
	D	3	21	63	博士(教育学)	0.69	H19	
<b>国際広報イ・観光学院</b>							H19	札幌市北区北17条西8丁目
国際広報イ専攻	M	2	27	54	修士(国際広報イ/イ学)	1.12	H19	
	D	3	14	42	博士(国際広報イ/イ学)	0.47	H19	
観光創造専攻	M	2	15	30	修士(観光学)	1.09	H19	
	D	3	3	9	博士(観光学)	0.99	H19	
<b>保健科学院</b>							H20	札幌市北区北12条西5丁目
保健科学専攻	M	2	40	80	修士(保健科学/看護学)	1.14	H20	
	D	3	10	30	博士(保健科学/看護学)	0.93	H22	

<b>工学院</b>							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学専攻	M	2	33	66	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.77	H22		
材料科学専攻	M	2	39	78	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学専攻	M	2	27	54	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
I初級-環境システム専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
量子理工学専攻	M	2	20	40	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
環境フィールド工学専攻	M	2	24	48	修士(工学)	1.22	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.88	H22		
北方圏環境政策工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.09	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
建設都市空間工学専攻	M	2	22	44	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム専攻	M	2	27	54	修士(工学)	0.81	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境創生工学専攻	M	2	28	56	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境循環システム専攻	M	2	18	36	修士(工学)	1.27	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	2.00	H22		
共同資源工学専攻	M	2	10	20	修士(工学)	1.35	H29		
<b>総合化学院</b>							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学専攻	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.18	H22		
	D	3	38	114	博士(理学/工学/総合化学)	1.10	H22		
<b>経済学院</b>							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営専攻	M	2	35	70	修士(経済学/経営学)	1.31	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学/経営学)	0.86	H12		
会計情報専攻	P	2	20	40	会計修士(専門職)	1.05	H17		
<b>医学院</b>							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医科学専攻	M	2	20	40	修士(医科学/公衆衛生学)	1.55	H29		
医学専攻	D	4	90	360	博士(医学)	1.02	H29		
<b>歯学院</b>							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学専攻	D	4	40	160	博士(歯学)	0.82	H12		
<b>獣医学院</b>							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学専攻	D	4	16	64	博士(獣医学)	0.97	H7		
<b>医理工学院</b>							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医理工学専攻	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.12	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.30	H29		
<b>国際感染症学院</b>							H29	札幌市北区北18条西9丁目	
感染症学専攻	D	4	12	48	博士(感染症学/疫病学)	1.24	H29		

国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目
国際食資源学専攻	M	2	15	30	修士(食資源学)	1.09	H29	
公共政策学教育部							H17	札幌市北区北9条西7丁目
公共政策学専攻	P	2	30	60	公共政策学専攻(専門)	1.19	H17	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院 国際感染症学院 感染症学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	杉本 千尋 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習	専	教授	杉本 千尋 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習			
専	教授	鈴木 定彦 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論 国際保健衛生演習	専	教授	鈴木 定彦 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論 国際保健衛生演習	専	教授	鈴木 定彦 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論
専	教授	澤 洋文 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論 感染病理学特論	専	教授	澤 洋文 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論 感染病理学特論	専	教授	澤 洋文 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論 感染病理学特論
専	教授	東 秀明 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 人獣共通感染症制御 学特論 生体防御学特論 製剤開発特論	専	教授	東 秀明 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 人獣共通感染症制御 学特論 生体防御学特論 製剤開発特論	専	教授	東 秀明 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 海外インターンシップ A 海外インターンシップ B 人獣共通感染症制御 学特論 生体防御学特論 製剤開発特論
専	教授	高田 礼人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論	専	教授	高田 礼人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論	専	教授	高田 礼人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 微生物学特論 人獣共通感染症制御 学特論
専	教授	伊藤 公人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 情報科学特論 感染症数理生物学特論	専	教授	伊藤 公人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 情報科学特論 感染症数理生物学特論	専	教授	伊藤 公人 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 情報科学特論 感染症数理生物学特論



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	五十嵐 学 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 生物統計学特論 情報科学特論 製剤開発特論	専	准教授	五十嵐 学 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 生物統計学特論 情報科学特論 製剤開発特論	専	准教授	五十嵐 学 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 生物統計学特論 情報科学特論 製剤開発特論
専	准教授	今内 覚 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 免疫学特論	専	准教授	今内 覚 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 免疫学特論	専	准教授	今内 覚 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 免疫学特論
専	准教授	好井 健太郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 獣医公衆衛生学特論	専	准教授	好井 健太郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 獣医公衆衛生学特論	専	准教授	好井 健太郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 獣医公衆衛生学特論
専	准教授	岡松 正敏 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 越境性感染症学特論	専	准教授	岡松 正敏 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 越境性感染症学特論	専	准教授	岡松 正敏 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 越境性感染症学特論
専	准教授	吉松(森松) 組子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論	専	准教授	吉松(森松) 組子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論	専	准教授	吉松(森松) 組子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論
			専	准教授	新開 大史 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 生体防御学特論	専	准教授	新開 大史 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症制御 学特論 生体防御学特論
			専	准教授	磯田 典和 <平成29年10月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論 リスク分析学特論 国際保健衛生演習	専	准教授	磯田 典和 <平成29年10月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論 リスク分析学特論 国際保健衛生演習
専	講師	中村 一郎 <平成29年4月> 研究倫理演習 人獣共通感染症制御 学特論	専	講師	中村 一郎 <平成29年4月> 研究倫理演習 人獣共通感染症制御 学特論	専	講師	中村 一郎 <平成29年4月> 研究倫理演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	大場 靖子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論 感染病理学特論	専	講師	大場 靖子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 人獣共通感染症制御 学特論 感染病理学特論	専	講師	大場 靖子 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 感染病理学特論
専	講師	長谷部(山崎)理絵 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論	専	講師	長谷部(山崎)理絵 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論	専	講師	長谷部(山崎)理絵 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論
専	講師	松野 啓太 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 越境性感染症学特論	専	講師	松野 啓太 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 越境性感染症学特論	専	講師	松野 啓太 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 越境性感染症学特論
			専	講師	古田 芳一 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 製剤開発特論	専	講師	古田 芳一 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 製剤開発特論
専	助教	石井 秋宏 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習	専	助教	石井 秋宏 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習			
専	助教	大森 亮介 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 生物統計学特論 情報科学特論 リスク分析学特論 感染症数理生物学特論	専	助教	大森 亮介 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 生物統計学特論 情報科学特論 リスク分析学特論 感染症数理生物学特論	専	助教	大森 亮介 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 生物統計学特論 情報科学特論 リスク分析学特論 感染症数理生物学特論
専	助教	大東 卓史 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B	専	助教	大東 卓史 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B	専	助教	大東 卓史 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B
専	助教	村田 史郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 免疫学特論	専	助教	村田 史郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 免疫学特論	専	助教	村田 史郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 免疫学特論
専	助教	山崎 剛士 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論	専	助教	山崎 剛士 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論	専	助教	山崎 剛士 <平成29年4月> 感染症学特別研究 I 感染症学特別演習 感染症学特別研究 II A 感染症学特別研究 II B 研究機器演習 獣医衛生学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	中尾 亮 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 寄生虫学特論
兼任	教授	安居院 高志 <平成29年4月> 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	昆 泰寛 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	教授	坪田 敏男 <平成29年4月> 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	石塚 真由美 <平成29年4月> 生物統計学特論 研究機器演習
兼任	教授	JACKSON DAVID CHARLES <平成29年4月> 製剤開発特論
兼任	教授	BROWN LORENA ELIZABETH <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	教授	HARTLAND ELIZABETH LOUISE <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	准教授	森松 正美 <平成29年4月> 研究倫理演習
兼任	准教授	市居 修 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	准教授	小柳 香奈子 <平成29年4月> 情報科学特論
兼任	助教	青島 圭佑 <平成29年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ
兼任	助教	HENSHAW MICHAEL JAMES <平成29年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中尾 亮 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 寄生虫学特論
専	助教	小林 進太郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 獣医公衆衛生学特論
兼任	教授	安居院 高志 <平成29年4月> 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	昆 泰寛 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	教授	坪田 敏男 <平成29年4月> 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	石塚 真由美 <平成29年4月> 生物統計学特論 研究機器演習
兼任	教授	JACKSON DAVID CHARLES <平成29年4月> 製剤開発特論
兼任	教授	BROWN LORENA ELIZABETH <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	教授	HARTLAND ELIZABETH LOUISE <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	准教授	森松 正美 <平成29年4月> 研究倫理演習
兼任	准教授	市居 修 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	准教授	小柳 香奈子 <平成29年4月> 情報科学特論
兼任	助教	青島 圭佑 <平成29年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ
兼任	助教	HENSHAW MICHAEL JAMES <平成29年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中尾 亮 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 人獣共通感染症対策 専門特論 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 寄生虫学特論
専	助教	小林 進太郎 <平成29年4月> 感染症学特別研究Ⅰ 感染症学特別演習 感染症学特別研究Ⅱ A 感染症学特別研究Ⅱ B 獣医公衆衛生学特論
兼任	教授	安居院 高志 <平成29年4月> 研究倫理演習 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	昆 泰寛 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	教授	坪田 敏男 <平成29年4月> 人獣共通感染症対策 専門特論
兼任	教授	石塚 真由美 <平成29年4月> 生物統計学特論 研究機器演習
兼任	教授	JACKSON DAVID CHARLES <平成29年4月> 製剤開発特論
兼任	教授	BROWN LORENA ELIZABETH <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	教授	HARTLAND ELIZABETH LOUISE <平成29年4月> 生体防御学特論
兼任	准教授	森松 正美 <平成29年4月> 研究倫理演習
兼任	准教授	市居 修 <平成29年4月> 研究機器演習
兼任	准教授	小柳 香奈子 <平成29年4月> 情報科学特論
兼任	助教	青島 圭佑 <平成29年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ
兼任	講師	HENSHAW MICHAEL JAMES <平成30年4月> 7か国「ミックインク」リサーチ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	CHUA BRENDON YEW LOONG <平成29年4月>	兼任	助教	CHUA BRENDON YEW LOONG <平成29年4月>	兼任	助教	CHUA BRENDON YEW LOONG <平成29年4月>
		生体防御学特論			生体防御学特論			生体防御学特論
兼任	非常 勤講師	片倉 賢 <平成31年4月>						
		人獣共通感染症対策 専門特論 寄生虫学特論						
						兼任	非常 勤講師	黒澤 努 <平成30年4月> 研究機器演習
						兼任	非常 勤講師	DES HIGGINS <平成30年4月> 情報科学特論

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・(専) 杉本千尋教授 平成30年3月に定年退職。担当科目については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 新開大史准教授 平成29年4月に就任。平成28年11月教員審査済み。
- ・(専) 磯田典和准教授 平成29年10月に就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・(専) 古田芳一講師 平成29年4月に就任。平成29年1月教員審査済み。
- ・(専) 石井秋宏助教 平成30年2月に退職。担当科目については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 中尾亮助教 平成29年4月に准教授へ昇任。平成28年11月教員審査済み。担当科目として、新たに「人獣共有感染症対策専門持論」「感染症学特別研究ⅡA」「感染症学特別研究ⅡB」を追加。平成29年11月教員審査済み。
- ・届出時には予定していなかった(専) 日尾野隆太助教について、平成28年11月教員審査を行い、平成29年4月以降、授業科目を担当する予定であったが、平成29年1月に他機関就職のため就任辞退。担当予定科目については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 小林進太郎助教 平成29年4月に採用。平成28年11月教員審査済み。

【平成30年度】

- ・(専) 鈴木定彦教授が担当していた「国際保健衛生演習」を担当外とする。なお、当該科目は同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 迫田義博教授が担当していた「リスク分析学持論」を担当外とする。なお、当該科目は同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 新開大史准教授が、新たに「人獣共通感染症制御学持論」を担当。平成30年1月教員審査済み。
- ・(専) 中村一郎講師が担当していた「人獣共通感染症制御学持論」を担当外とする。なお、当該科目は同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(専) 大場靖子講師が担当していた「人獣共通感染症制御学持論」を担当外とする。なお、当該科目は同じ研究分野の教員が担当するため、支障はない。
- ・(兼任) HENSHAW MICHAEL JAMES助教 平成30年4月に(兼任)講師へ昇任。
- ・(兼任) 黒澤努非常勤講師 平成30年4月に就任。
- ・(兼任) DES HIGGINS非常勤講師 平成30年4月に就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
9	7	4	6	26	10	10	5	5	30	9	10	5	5	29
(11)	(9)	(5)	(6)	(31)						[ 0 ]	[ 3 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
21	4	1			27	2	1			26	2	1		
(26)	(2)	(1)								[ 5 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{29}{26} = \boxed{111.53} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	日尾野 隆大	必修	感染症学特別研究Ⅰ	③	他機関就職のため就任辞退（29）			
			必修	感染症学特別演習	③				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	2 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	石井 宏秋	必修	感染症学特別研究Ⅰ	③	H30.2付け退職（30）			
			必修	感染症学特別演習	③				
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	2 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	4 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	4 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	4 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{26} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	杉本 千尋	必修	感染症学特別研究 I	③	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)		
			必修	感染症学特別演習	③			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	2 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	2 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	2 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

設置時(平成29年4月)に、助教1名が就任辞退し後任の補充は行なっていないが、当該助教の担当予定科目は、研究指導科目(判定結果は研究指導補助)のみであり、同じ研究分野の教授、准教授及び講師が研究指導を行なうため、支障はない。  
また、学生募集要項の配布時点で当該助教は記載されていないため(AC教員審査受審中であったため)、学生への影響はない。(29)

平成29年度は教授1名が定年退職、助教1名が退職し、後任の補充は行なっていないが、当該教員の担当予定科目は、感染症学特別研究 I 及び感染症学特別演習であり、同じ研究分野の教授、准教授及び講師が研究指導を行なうため、支障はない。  
なお、学生募集要項の配布時点で定年退職予定の教授については注記しているため、学生への影響はない。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<大学院 国際感染症学院 感染症学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### 1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

##### ① 実施体制

- a 委員会の設置状況  
高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
平成27年度2回開催，平成28年度1回開催，平成29年度1回開催
- c 委員会の審議事項等  
教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること  
職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること  
総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること  
その他教職員等の研修に関すること

##### ② 実施状況

- a 実施内容  
本学教職員を対象としたFD・SDの実施
- b 実施方法  
ワークショップ形式，講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたFD・SDの実施
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
  - ・ 知って活用したい北大の教員支援制度（4/21，北大22名）
  - ・ メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編（5/15，北大28名，北大以外14名）
  - ・ 効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ（5/19，北大11名，北大以外10名）
  - ・ 講演会「『アクティブ・ラーニング時代』の大人数講義法の基本」（5/30，北大46名，北大以外34名）
  - ・ 講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（6/14，北大15名，北大以外17名）
  - ・ 問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ（北大7名，北大以外6名）
  - ・ 第32回北海道大学教育ワークショップ（6/23-24，北大15名，北大以外2名）
  - ・ メンタルヘルスケア講演会～対教職員メンタルヘルスケア編（6/26，北大39名，北大以外21名）
  - ・ ルーブリック評価入門ワークショップ（7/5，北大8名，北大以外13名）
  - ・ 講演会「多様な学習動機への対応」（7/21，北大22名，北大以外16名）
  - ・ 講演会「発達障害のある学生の理解と対応」（共催）（8/8，北大43名，北大以外21名）
  - ・ 講演会「円滑な講義・演習のための高等教育における学びのユニバーサルデザイン」（共催）（8/9，北大18名，北大以外9名）
  - ・ 講演会「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」（8/10，北大21名，北大以外10名）
  - ・ 授業運営の苦悩～解決策を探る（8/18，北大5名，北大以外6名）
  - ・ Teaching in Englishワークショップ（8/21，北大13名，北大以外4名）
  - ・ 北海道FD・SDフォーラム2017（9/1，北大35名，北大以外63名）
  - ・ シンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」（9/2，北大17名，北大以外66名）
  - ・ Workshop on creating rubrics（9/8，北大7名）
  - ・ 第33回北海道大学教育ワークショップ（9/14-15，北大16，北大以外5名）
  - ・ アクティブラーニング導入ワークショップ（9/20，北大7名，北大以外7名）

- ・ルーブリック評価入門ワークショップ (9/22, 北大12名, 北大以外14名)
- ・講演会「伝わる話し方を心がけて」 (10/23, 北大57名, 北大以外10名)
- ・E L M S 講習会～授業でE L M S を活用する～ (11/10・13, 北大32名)
- ・第34回北海道大学教育ワークショップ (11/17-18, 北大14名, 北大以外1名)
- ・講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」 (11/24, 北大45名, 北大以外22名)
- ・Classroom management techniques for classes conducted in English (12/8, 北大12名, 北大以外1名)
- ・シラバスのブラッシュアップ研修 (12/9, 北大4名, 北大以外3名)
- ・求められる学習支援を考える (12/15, 北大8名, 北大以外8名)
- ・英文Eメールライティング研修(フォーマット編) (1/26, 北大14名, 北大以外5名)
- ・英文Eメールライティング研修(表現編) (1/27, 北大16名, 北大以外4名)
- ・英語コミュニケーション研修(リスニング編) (2/16, 北大25名, 北大以外3名)
- ・英語コミュニケーション研修(スピーキング編) (2/17, 北大22名, 北大以外3名)
- ・アクティブラーニング導入ワークショップ (2/21, 北大7名, 北大以外2名)
- ・ルーブリック評価入門ワークショップ (2/22, 北大11名, 北大以外6名)
- ・英語プレゼンテーション研修 (3/6・7, 北大4名)
- ・アカデミック・ライティング研修 (3/14, 北大10名, 北大以外2名)
- ・改めて教育の質保証を検討する (3/15, 北大3名, 北大以外14名)
- ・FD・SD研修企画マネジメント (3/15, 北大8名, 北大以外9名)
- ・北海道地区国立大学法人等初任職員研修 (4/12-14, 北大52名, 北大以外26名)
- ・初任事務職員英語研修 (6/6-7/27, 北大49名)
- ・初任事務職員実地研修 (8/22-9/1, 北大49名)
- ・初任事務職員フォローアップ研修 (11/10, 北大47名)
- ・北海道地区国立大学法人等中堅職員研修 (6/12-14, 北大22名, 北大20以外名)
- ・北海道地区国立大学法人等係長研修 (12/13-15, 北大17名, 北大以外16名)
- ・北海道地区国立大学法人等会計基準研修 (10/11-13, 北大24名, 北大以外15名)
- ・会計実務研修 (7/24-26, 北大15名)
- ・事務職員英会話研修 (5/19-12/15, 北大16名)
- ・事務職員海外語学研修 (ニュージーランド) (10/6-11/19, 北大1名)
- ・事務職員海外語学研修 (カナダ) (10/22-12/21, 北大1名)
- ・事務職員海外インターンシップ (9/30-3/26, 北大1名)
- ・事務職員TOEICスコアアップ研修 (10/17-12/5, 北大15名)
- ・事務職員英会話スキルアップ研修 (10/18-12/6, 北大16名)
- ・事務職員英会話スクール利用研修 (10/2-1/21, 北大17名)
- ・事務職員eラーニング利用研修 (7/1-12/31, 北大81名)
- ・TOEIC-IPテスト (希望者) (2回) (8/28・1/29, 北大83名)
- ・事務職員海外短期集中研修 (2回) (8/21-9/1, 11/13-17, 北大4名)
- ・北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修 (12/14-15, 北大8名, 北大以外12名)
- ・北海道地区学生指導研修会 (8/24-25, 北大10名, 北大以外32名)
- ・教務事務実務研修 (11/9-10, 北大18名)
- ・北海道大学における学生対応に関する研修会 (2/8, 北大65名)
- ・北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会 (Access初級編) (7/24-25, 北大16名, 北大8以外名)
- ・北海道地区国立大学法人等アドバイラストラレータ研修 (10/16-17, 北大19名, 北大以外1名)
- ・利用支援課新任担当者実務研修 (4/5-7, 北大19名)
- ・附属図書館新任職員SD研修 (4/17, 北大11名)
- ・北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー (9/14-15, 北大7名, 北大以外11名)
- ・北海道地区国立大学法人等施設担当職員研修会 (10/12-13, 北大2名, 北大以外14名)
- ・北海道地区国立大学法人等技術職員研修 (8/23-25, 北大29名, 北大以外6名)
- ・ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座 (9/7-11/14, 北大9名)
- ・「プレゼンテーション」講座 (2/14, 北大11名)
- ・メディアトレーニング講座 (9/12, 北大31名)
- ・プレスリリース講座 (11/21, 北大58名)
- ・北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」 (11/6-7, 北大7名, 北大以外27名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し，高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長，科目責任者へ通知している。また，アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて，各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい，提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部及び大学院国際感染症学院FD委員会（国際感染症学院のFDを実施）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部及び大学院国際感染症学院FD委員会（国際感染症学院のFDを実施）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部及び大学院国際感染症学院FD委員会  
・平成29年度第1回FD委員会（4/28，FD委員会委員7名出席）

c 委員会の審議事項等

大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部及び大学院国際感染症学院FD委員会  
・教育研究活動改善の方策に関すること。  
・研究院等のFD活動の企画，支援，推進に関すること。  
・学生による授業評価の実施，結果分析及び教育研究へのフィードバックに関すること。  
・FDに関する各種相談に関すること。  
・その他教育研究改善に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

国際感染症学院に関するものとして，関連教員（学部・大学院を含む）を対象としたFDを実施（求める人材像や養成する人材，学生選抜，学院のカリキュラム，学位取得までのプロセス等）  
※獣医学研究院・獣医学部FD委員会主催

b 実施方法

講演方式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度の実施状況は以下のとおりであり，平成30年度も継続的にFDを実施する予定である。  
・EAEVE認証に関するFD/SD講演会（6/22，80名）  
・高等教育における障害のある学生の修学支援（7/19，30名）  
・動物実験FD「獣医学院における動物実験のルールと実施状況，動物実験の社会的動向」（8/21，37名）  
・教職員合同の英語FD講演会「How to be effective in the English-medium classroom:Lessons and recommendations from 3 1/2 yeares of English at Vet Med」（11/13，38名）  
・Glexaの有効活用の推進に向けて（12/1，25名）  
・共通機器の共有化について（12/1，19名）  
・獣医学研究院の国際交流活動に関するFD講演会（2/9，30名）  
・共同獣医学課程カリキュラム改訂の進捗状況と国際認証取得へ向けての取り組み（3/15，40名）  
・平成29年度北海道大学・帯広畜産大学共同獣医学課程合同FD研修会（3/18-3/19，北大42名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

国際感染症学院は授業をすべて英語で実施しており，英語FD講演会を実施する等により，英語での教育方法についての改善検討を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学院授業科目において，それぞれの授業科目終了後に学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

平成29年度実施分については，FD委員会で分析した後，平成30年度中に公開予定（ホームページ，メール）。

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

エボラ出血熱のアウトブレイク等、新興・再興感染症による社会、経済への脅威は益々増大し、感染症の研究とその対策にあたる専門家養成の要望が国内外において一層高まっている。北海道大学大学院国際感染症学院設置の趣旨・目的は、このような社会的要請に応えるため、感染症学に関する広い視野、柔軟な発想力及び総合的な判断力を有し、我が国のみならず世界の感染症学の発展ならびに感染症の制圧に寄与できる実践的な能力と指導力を備えた人材を育成することである。

平成29年4月には、感染症学領域及び獣医学領域における大学院教育のさらなる国際化・学際化のため、大学院組織を研究院(教員組織)と学院(学生組織)へ改組し、人獣共通感染症リサーチセンター、獣医学研究院及び医学研究院等の教員が国際感染症学院に専任教員として参画することにより、それぞれの専門を活かした分野横断的な教育体制の構築を行なった。

開設年度である平成29年度は4月入学者、10月入学者を合わせ、博士課程14名の入学生を迎えることができた。より高いレベルの感染症制御の専門家の育成に必要な医学的見地から見た感染症制御についての学習を促すため、シラバス等において履修モデルを示し、「大学院共通授業科目」や「医学院の科目」等、国際感染症学院以外の科目の履修について、学生に対して強く推奨している。また、入学時履修ガイダンスを実施し、学院についての理解を深めてもらうなど、設置の趣旨・目的に合致する人材の育成を目指している。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・平成33年3月末日以降(予定)

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価(大学改革支援・学位授与機構が実施)を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (  有  無 )

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 ( 平成30年 6月 1日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

(平成 27 年 4 月 1 日制定)

(趣旨)

**第 1 条** この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成 22 年海大達第 243 号）第 30 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

**第 2 条** 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関する事。
- (2) 職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事。
- (3) 総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関する事。
- (4) その他教職員等の研修に関する事。

(組織)

**第 3 条** 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 高等教育研修センター長（第 5 条において「センター長」という。）
  - (2) 高等教育研修センター副センター長（第 5 条において「副センター長」という。）
  - (3) 文学部，教育学部，法学部，経済学部，文学研究科，法学研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2 名
  - (4) 理学部，工学部，農学部，水産学部，情報科学研究科，水産科学院，環境科学院，理学院，農学院，生命科学院，工学院，総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2 名
  - (5) 医学部，歯学部，薬学部，獣医学部，保健科学院，医学院，歯学院，獣医学院，医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2 名
  - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
  - (7) 総務企画部長
  - (8) 学務部長
  - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員は、機構長が委嘱する。

(任期)

**第 4 条** 前条第 1 項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

**第 5 条** 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

(議事)

**第 6 条** 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(代理者)

**第 7 条** 第 3 条第 1 項第 3 号から第 6 号までの委員に事故があるときは、代理者を出席させることができる。

2 前項の代理者は、当該教育研究組織の教授又は准教授とする。

(委員以外の者の出席)

**第8条** 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

**第9条** 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

(雑則)

**第10条** この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

**附 則**

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

# 北海道大学大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部 及び大学院国際感染症学院 FD 委員会内規

(平成 21 年 11 月 25 日制定)

(設置)

第 1 条 北海道大学大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・獣医学部及び大学院国際感染症学院（以下「研究員等」という。）に、教職員の教育研究活動の向上及び教育能力開発を推進し、その質的充実を図ることを目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第 2 条 委員会は次の各号に掲げる任務を行う。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関すること。
- (2) 研究員等の FD 活動の企画，支援，推進に関すること。
- (3) 学生による授業評価の実施，結果分析及び教育研究へのフィードバックに関すること。
- (4) FD に関する各種相談に関すること。
- (5) その他教育研究改善に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 研究院長が指名する獣医学研究院教授 1 名
- (2) 獣医学研究院各分野から選出された教員 各 1 名（ただし、応用獣医科学及び環境獣医科学、病原制御学及び衛生学は両分野で 1 名）
- (3) 人獣共通感染症リサーチセンターから選出された教員 1 名
- (3) 獣医学系事務部から選出された職員 1 名
- (4) その他委員長が必要と認めた教職員

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、研究院等の長が指名する教授の委員をもって充てる。

- 2 委員長は委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第 6 条 委員会は委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

- 2 委員会議事は、出席委員の過半数でこれを決する。

(委員会以外の者の出席)

第 7 条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第 8 条 委員会に専門的事項を審議又は処理するため、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は事務部教務担当が行う。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会及び専門委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この内規は、平成21年11月25日から施行する。
- 2 この内規の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行する。